

# 【PRESS RELEASE】成田空港活用協議会

## 成田空港活用協議会設立総会の開催結果について

平成 2 5 年 7 月 3 1 日

本日、成田空港活用協議会（以下、「当協議会」と言います。）設立総会が開催され、下記のとおり決議されましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 総会決議事項

##### (1) 設立趣意書【別添資料①】、規約

- 当協議会の設立趣意書及び事業体系や組織等を定めた規約が全会一致で決議されました。

##### (2) 役員等選出【別添資料②】

- 当協議会役員 8 名の選出、幹事 1 2 名・協力団体 3 団体の決議がなされました。
- なお、代表発起人の千葉県商工会議所連合会会長の石井氏は会長に、千葉県知事の森田氏は特別顧問に就任いたしました。

##### (3) 平成 2 5 年度事業計画【別添資料③】

- 成田空港国内線利用者の県内観光を推進するため、北海道などの就航先でのちばの観光プロモーションを積極展開。また、香港などアジアの現地旅行者等を対象に、成田空港を起点としたレンタカーによるファミトリップも実施。
- 県民等にもっと成田空港の充実した航空ネットワークを利用していただくためのキャンペーン、空港を活用した M I C E やビジネス創出に係るセミナー、航空旅客利用実態調査などを会員のニーズを踏まえて具体化。
- 成田空港の利便性向上のための国等関係機関への要望活動。
- 上記に加えて、会員からの積極的な事業提案を募集し、事業展開予定。

##### (4) 平成 2 5 年度予算【別添資料④】

- 今年度の予算規模は総額 5, 400 万円とし、うち事業活動費は約 4, 000 万円を見込んでおります。

#### 2. その他

- 当協議会の趣旨にご賛同いただき、会員となっただいた企業、団体及び地方自治体は、本日時点で 138 社（団体）となりました。今後も県内を中心に企業、団体、市町村等に参加を呼びかけ、事業を展開してまいります。

#### 《お問い合わせ先》

成田空港活用協議会事務局 内田(事務局長)

千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階301

TEL:043-306-2411 FAX:043-306-2412 E-mail:[info@nrt-promo.jp](mailto:info@nrt-promo.jp) URL:<http://www.nrt-promo.jp/>

## **成田空港活用協議会の設立について (設立趣意書)**

1978年に開港した成田空港は、日本の表玄関として成長を続け、2010年10月の発着容量30万回の合意以降は、国際線・国内線の新規就航や増便、本邦系LCC2社の新規就航など、成田空港を取り巻く動きが活発化している。また、成田空港への鉄道・バスアクセスの向上や圏央道の木更津東一東金間の開通などにより、成田空港を中心とした広域的な人・物・財の流れの創出という新たな可能性が生まれてきている。

この新たな動きを取り込み、成田空港の高まるポテンシャルを千葉県経済の活性化につなげるため、2011年12月「グレード・アップ『ナリタ』活用戦略会議」が設置され、官民一体となった議論を重ね、昨年9月には、「成田空港を活用した経済活性化戦略」(提言)を取りまとめた。

提言では、30万回化で拡大する人・物・財の流れを、単に都心にだけでなく、成田空港を中心に県全体さらには首都圏全体へと変えていくこと、この拡大する人・物の流れをより強化するための空港利用者の利便性・快適性の向上とアクセスのさらなる充実、成田空港をはじめとする「千葉の魅力」を国内外に広く発信していくこと、などといった、今後、取り組むべき戦略が掲げられている。

この戦略を実現していくために、オープンスカイの実施や開港35周年など成田空港が国内外から高い注目を集めているこの機会を捉え、経済界や民間の事業者、行政といった幅広い主体が結集し、成田空港を活用した本県経済の活性化の取組を「オール千葉」で一丸となって進めるべく、「成田空港活用協議会」を設立するものである。

本協議会では、コラボレーション、パートナーシップ、シェアリングの3つのコンセプトに基づき、「オール千葉での『相乗効果の最大化』」を実現するユニークな事業を実施し、加えて、民間のアイデアを取り込むための会員からの事業提案制など新たな事業フレームを構築していく。

こうした新たな枠組みによる活動は、新しい時代の成田空港と本県経済の発展の道筋を描き出し、成田空港の成長と地域経済の発展が連動した「本県経済の好循環」が生まれるものと確信し、ここに本協議会を設立する。

平成25年7月31日

## 成田空港活用協議会役員

### 会 長

石井 俊昭（県商工会議所連合会会長）

### 特別顧問

森田 健作（千葉県知事）

### 副会長

佐久間英利（県経済同友会代表幹事）

花田 力（県経済協議会会長／県経営者協会会長）

小泉 一成（成田市市長）

夏目 誠（成田国際空港(株)代表取締役社長）

### 監 事

花島敬一郎（県商工会連合会会長）

坂戸 誠一（県中小企業団体中央会会長）

## 平成 25 年度 事業計画

### 1 事業展開方針

(1) (仮称) 成田空港活用協議会設立準備会において、本協議会で取り組む事業として体系化した「事業の6本柱」(①～⑥)に沿って事業展開を図る。

[事業の6本柱]

- ① 国内線利用者の県内観光の推進
- ② インバウンド県内観光の推進
- ③ 成田空港発の県内企業ビジネスの創出
- ④ ナリタファンの拡大
- ⑤ OUR AIRPORTとしての利用促進
- ⑥ 成田空港の利便性向上

(2) 初年度においては以下の活動に重点をおく。

- ・ 協議会の理念や活動内容について広く発信し、認知度を高め、次年度以降の事業拡大へとつなげるため、積極的にプロモーション活動を行う。
- ・ 各種セミナーや調査等、会員にとって有意義な情報を提供する場を設け、協議会や会員自身による事業展開の基礎を築く。

(3) 事業実施に際しては、本事業計画を骨格としつつ、会員からのアイデア・ノウハウを最大限に活かしながらブラッシュアップする。

### 2 事業内容

#### (1) プロモーション事業

##### ア 国内線就航先向けプロモーション

国内線利用者の県内観光を推進するため、就航先(北海道)向けに「ちばの観光」や「成田空港の利便性向上」等のプロモーションを実施する。

[内容] ① 平成25年秋(札幌市内集客施設でのイベント開催等)

② 平成26年春(現地旅行業者を招へいした県内モニターツアー等)

##### イ 海外向けプロモーション

インバウンドによる県内観光を推進するため、関係機関・交通事業者(鉄道、バス、タクシー、エアライン等)と連携し、海外向けのプロモーションを展開する。

また、観光庁のビジット・ジャパン地方連携事業を活用し、神奈川県側と共同して、成田空港を起点としたレンタカーによるファミトリップを香港向けに実施する。

[内容] 平成26年春（現地旅行業者等を招へいし実施）

※ 香港は日本と同じく右ハンドル・左側通行

※ 圏央道～アクアラインを利用したコースを設定

#### ウ ビジネスプロモーション

成田空港を活用したビジネス展開の可能性を広げるため、会員を含め幅広い主体による取組と連携し、様々な機会を捉えてプロモーションを行う。

[内容]

例) 会員企業・団体が行う各種イベントでのPR・情報発信 等

### (2) 空港利用促進事業

#### ア 利用促進キャンペーン

“OUR AIRPORT”（私たちの空港）として成田空港をより積極的に利用してもらえるよう利用促進キャンペーンを展開する。

[内容]

例) 航空機利用者を対象としたキャンペーン(プレゼント・特典等)の実施  
県内交通機関等におけるキャンペーンPR

都内・首都圏近郊などで開催するイベントとのタイアップ 等

#### イ 空港内PRイベント

航空機利用に限らず幅広く空港への来訪を促し、「ナリタファン」の拡大へとつなげるため、空港内でのイベントを通じて、県産品・地域資源（農産物、日本酒、土産品等）の魅力を発信・PRする。（会員のニーズをふまえ具体化していく。）

### (3) 調査・広報事業

#### ア 外客受入体制整備セミナー

インバウンドによる県内観光の増加や定着、外国からのMICE関連客の県内引き込みを図るため、関係者の理解・認識の醸成に向けたセミナーを開催する。（会員のニーズをふまえ具体化していく。）

[内容]

例) ・ 外国人観光客受入の際に配慮すべき習慣、文化、嗜好等について  
・ MICE開催・誘致の意義、その経済効果等について

#### イ ビジネスセミナー

成田空港や圏央道等の高速道路網を活用してビジネス創出を図るため、関係者の理解・認識を促進し、その後の事業展開に資するセミナー等を開催する。（会員のニーズをふまえ具体化していく。）

## ウ 航空旅客利用動向調査

県内の観光・産業振興等の取組に幅広く活用するため、航空旅客の最新の利用動向やニーズを把握するための調査を行う。

[内容] 出発客・到着客に係る利用目的・目的地、消費動向、認知度、利便性、空港アクセス手段等

### (4) 要望活動

成田空港の利便性向上のため、国等関係機関に対する要望を行う。

### (5) 会員提案事業の検討・実施

上記に加え、会員からの事業提案を募り、部会等で検討・具体化していく。

### (6) その他

協議会の活動を広報するため、各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにニューズレター等による情報発信により、会員間において活動状況や成果の共有を図る。

## 平成 25 年度 収支予算書

平成 25 年 7 月 31 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

## 【収入の部】

(単位：千円)

科目	予算額	摘要
1. 負担金	46,700	
2. 会費	7,300	1口50千円
合計	54,000	

## 【支出の部】

(単位：千円)

科目	予算額	摘要
1. 運営費	13,500	
(1) 人件費	9,500	事務局長ほか
(2) 管理費	3,000	事務所賃料, 事務機器リース料等
(3) 事務費	1,000	消耗品費, 印刷製本費, 手数料等
2. 活動費	31,500	
(1) プロモーション活動費	16,000	・国内線就航先向けプロモーション 14,000 ・海外向けプロモーション 1,000 ・ビジネスプロモーション 1,000
(2) 空港利用促進費	9,000	・利用促進キャンペーン 6,000 ・空港内PRイベント 3,000
(3) 調査・広報費	4,500	・外客受入体制整備セミナー 1,000 ・ビジネスセミナー 500 ・航空旅客利用動向調査 3,000
(4) 事業調整費	2,000	会議費, 旅費等
3. 予備費	9,000	
(1) 予備費	9,000	会員提案事業費枠含む予備費
合計	54,000	

(備考) 千葉県負担金は、活動費に充当する。